

2025年大阪・関西万博外国人訪問者の意向調査 第1回速報

2025年7月

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行
関西支店

協力  **DBJ** DBJ デジタルソリューションズ
日本政策投資銀行グループ

アンケート調査概要

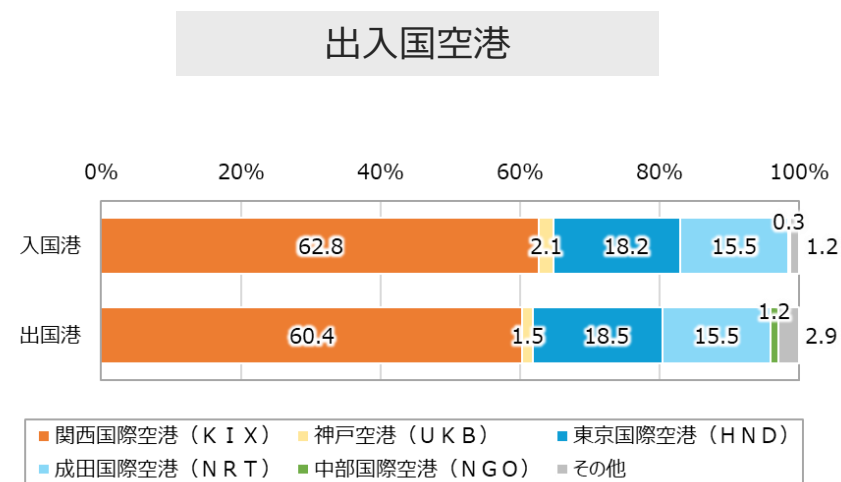
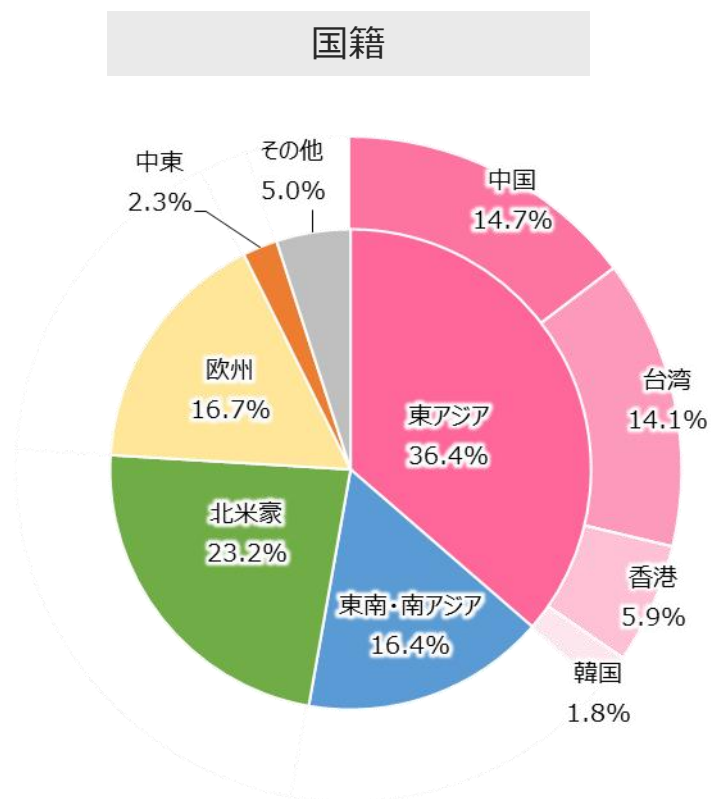
調査目的	大阪・関西万博開催期間における訪日外国人の国内訪問先・関心等を把握し分析する
調査方法	対面でのアンケート調査（タブレット使用）
調査場所	西日本旅客鉄道（JR）桜島駅
調査日時	2025年6月3日～6月16日の平日（10日間） 各日8:00～20:00
調査対象	JR桜島駅を利用する訪日外国人
回答者数	341人
協力会社	DBJデジタルソリューションズ（株） （株）サーベイリサーチセンター大阪事務所

※今回はアンケート結果の一部を速報として公表し（第2回速報は10月頃に公表予定）、詳細な分析レポートを年度末に公表予定

① 大阪・関西万博訪問者※の国籍・出入国空港

※訪問予定者を含む

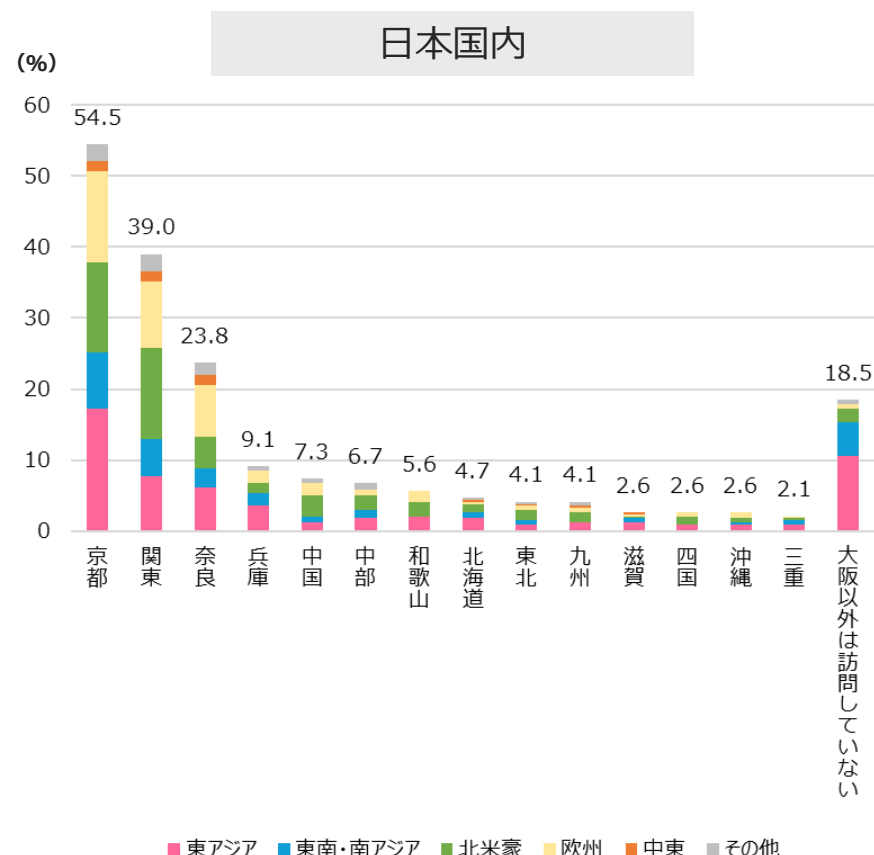
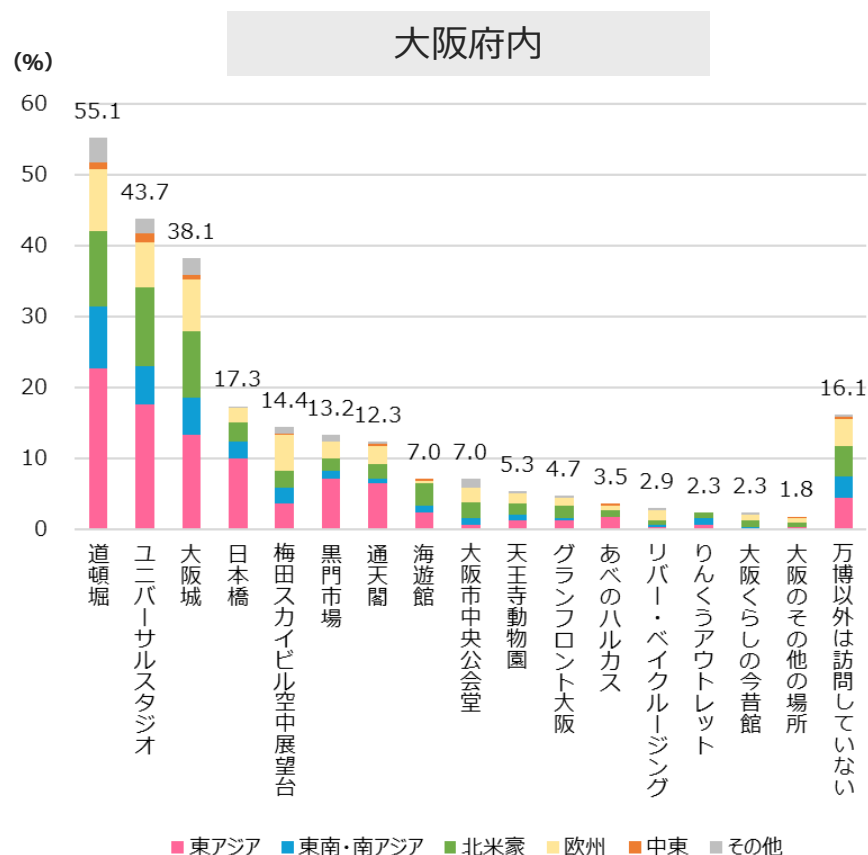
- 国籍を地域別にみると、東アジア（36.4%）、北米豪（23.2%）、欧州（16.7%）の順に多い。
東アジア地域では、中国（14.7%）、台湾（14.1%）、香港（5.9%）、韓国（1.8%）の順に多い。
- 出入国空港をみると、「関西国際空港」、「東京国際空港」、「成田国際空港」の順に多く、入国港・出国港ともにこれら3空港の合計が90%を超える。



② 大阪・関西万博訪問者※の府内・国内訪問地

※訪問予定者を含む

- 大阪府内の訪問地としては、「道頓堀」(55.1%)、「ユニバーサルスタジオ」(43.7%)、「大阪城」(38.1%)の順に多い。「万博以外は訪問していない」は16.1%。各地訪問者の国籍をみると、「日本橋」「黒門市場」「通天閣」では東アジアが50%を超える。
- 日本国内の訪問地としては、「京都」(54.5%)、「関東」(39%)、「奈良」(23.8%)の順に多い。「大阪以外は訪問していない」は18.5%。各地訪問者の国籍をみると、京都では東アジア、関東では北米豪、奈良では欧州出身者の回答がそれぞれ最も多い。

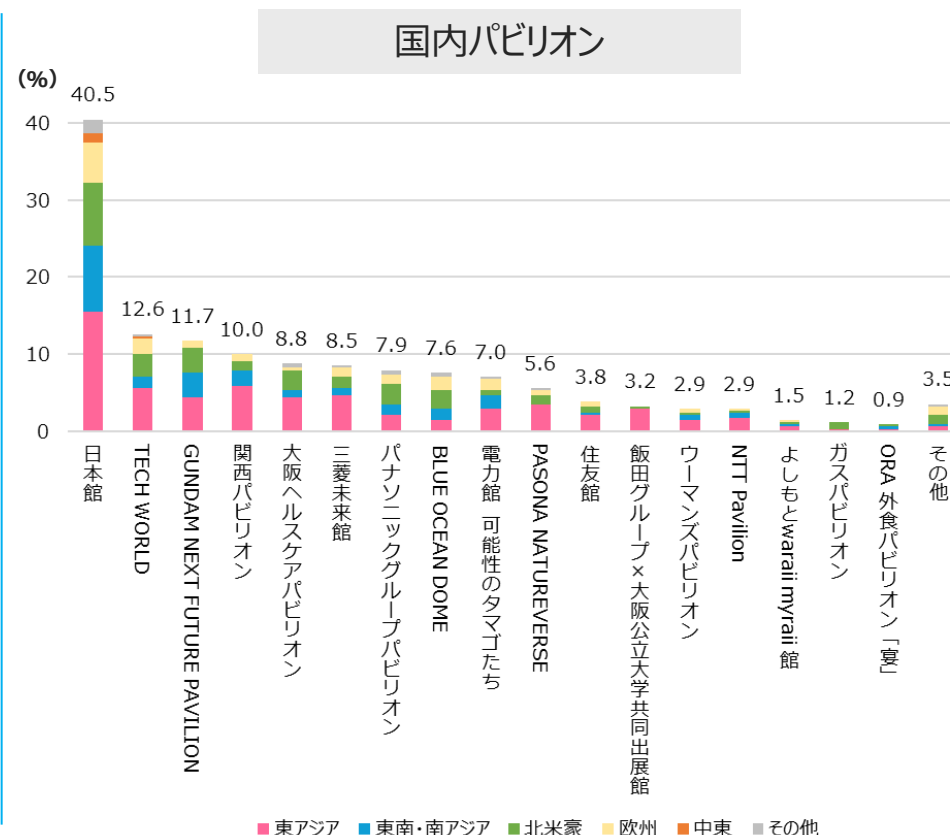
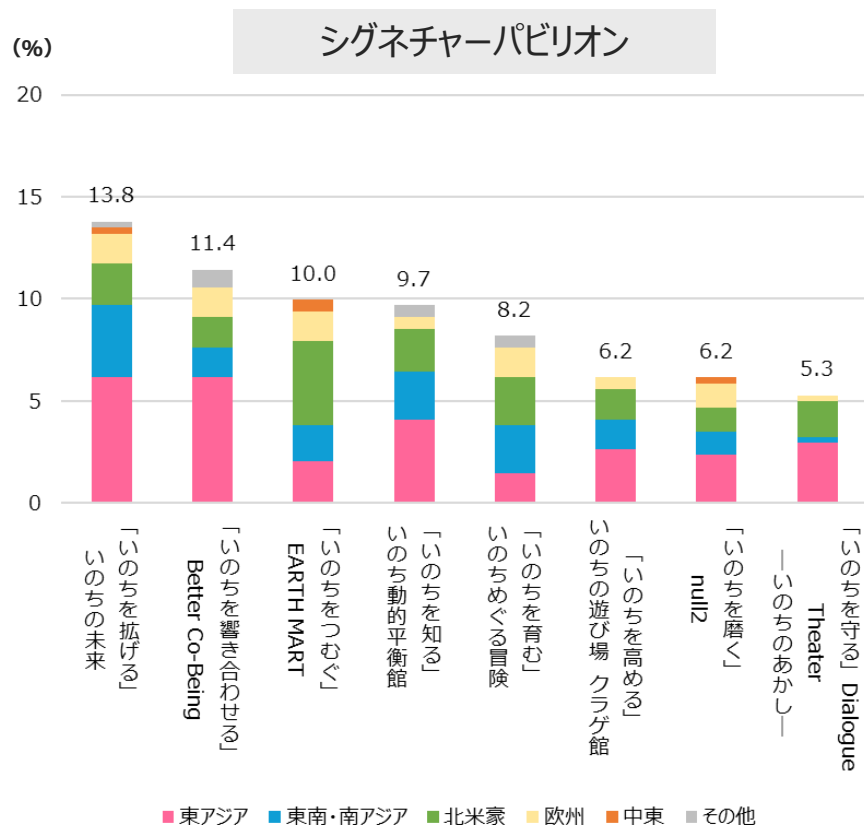


備考：1.上限なしの複数回答 2.有効回答者数比 (n=341)

③ 大阪・関西万博訪問者※に人気のパビリオン（1 / 2）

※訪問予定者を含む

- ・ シグネチャーパビリオンでは、「いのちを広げる」（13.8%）、「いのちを響き合わせる」（11.4%）、「いのちをつむぐ」（10%）の順に多い。各パビリオン訪問者の国籍をみると、「いのちを守る」「いのちを響き合わせる」ではそれぞれ東アジア出身者が50%を超える一方、「いのちをつむぐ」では北米豪の割合が高い（選択者のうち41.2%）。
- ・ 国内パビリオンでは、日本館が圧倒的に多く（40.5%）、次いで「TECH WORLD」（12.6%）、「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」（11.7%）の順に多い。各パビリオン訪問者の国籍を見ると、「パナソニックグループパビリオン」や「BLUE OCEAN DOME」では東アジアより北米豪出身者が多い。

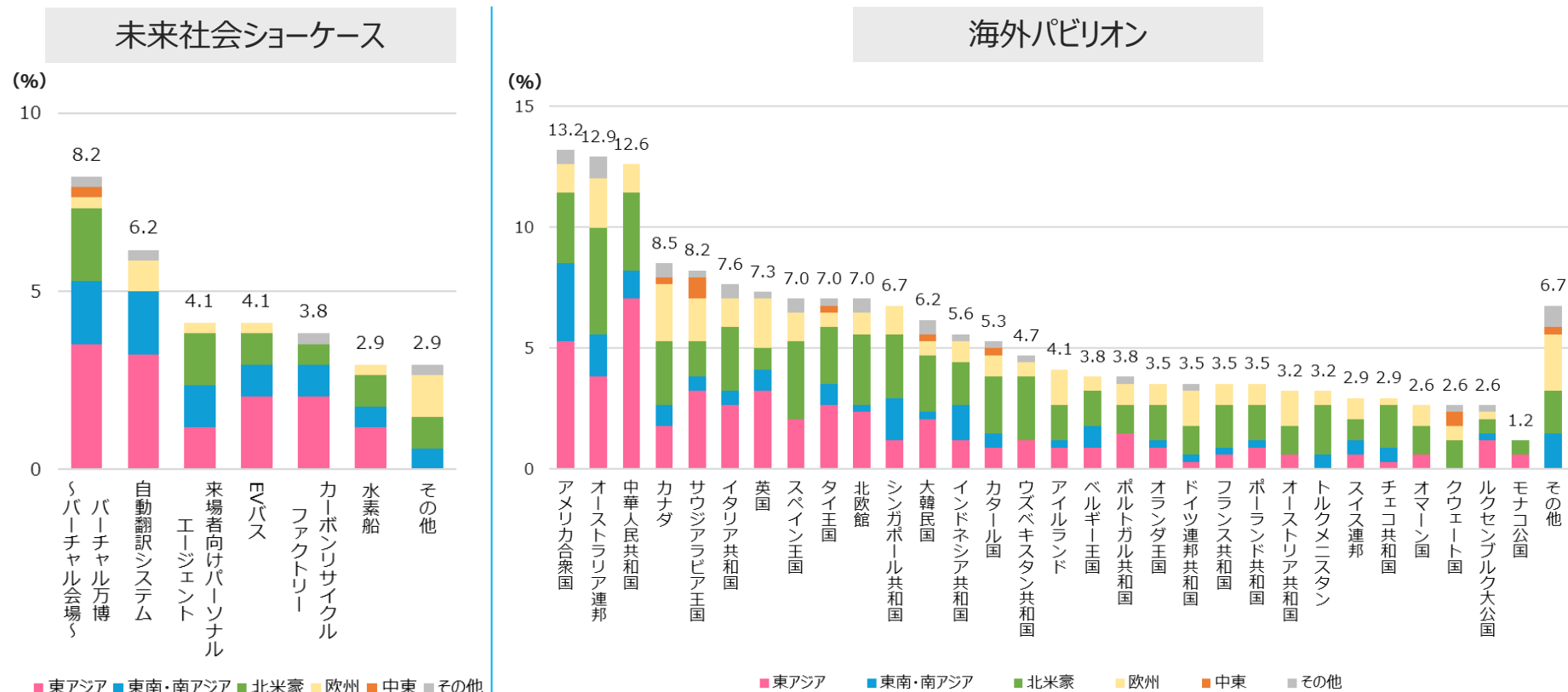


備考：1.シグネチャーパビリオン、国内外パビリオン、未来社会ショーケース、イベントの中から上限なしの複数回答 2.有効回答者数比（n=341）

③ 大阪・関西万博訪問者※に人気のパビリオン（２／２）

※訪問予定者を含む

- 未来社会ショーケースでは、「バーチャル万博～バーチャル会場～」(8.2%) が最も多く、次いで「自動翻訳システム」(6.2%) となっている。訪問者の国籍をみると、「バーチャル万博～バーチャル会場～」は選択者のうち25%が北米豪出身者であるのに対し、「自動翻訳システム」を選択した北米豪出身者はいなかった。
- 海外パビリオンでは、「アメリカ合衆国」(13.2%)、「オーストラリア連邦」(12.9%)、「中華人民共和国」(12.6%) の順に多い。「中華人民共和国」の訪問者は半数以上が東アジア出身者であるのに対し、「オーストラリア連邦」の訪問者は東アジアより北米豪出身者が多い。

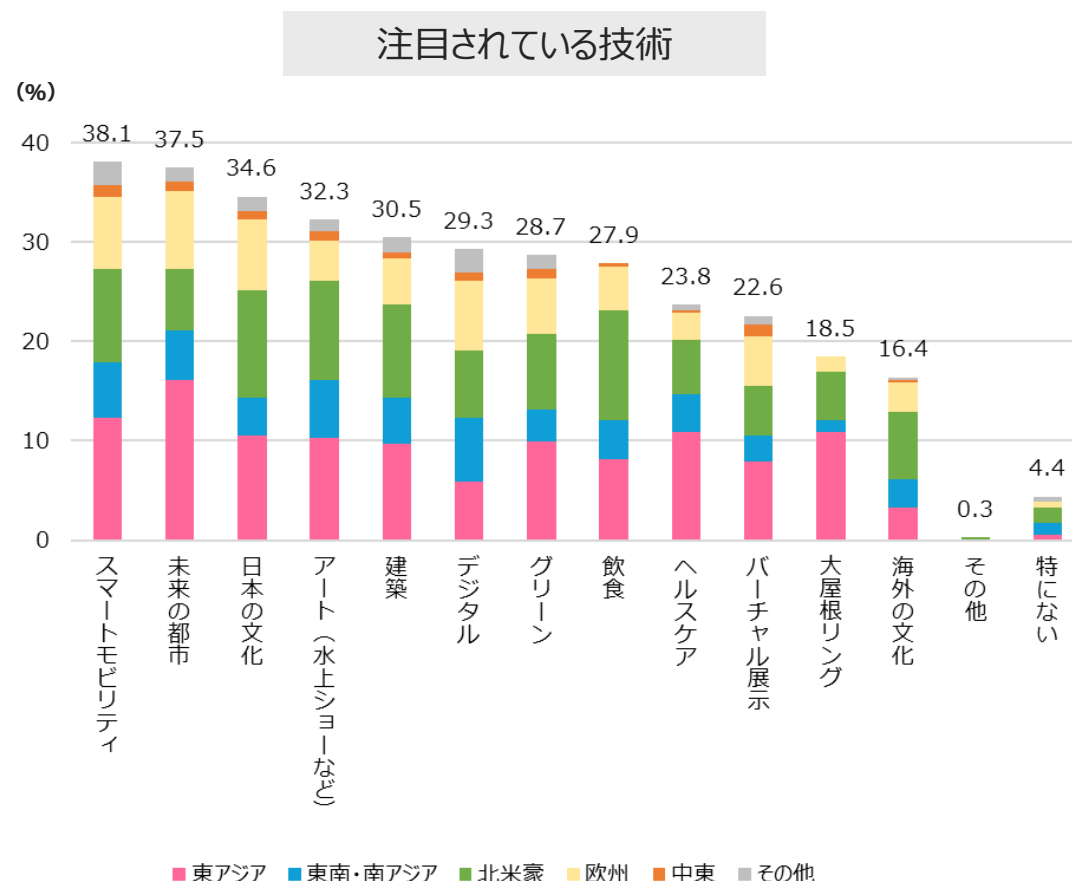
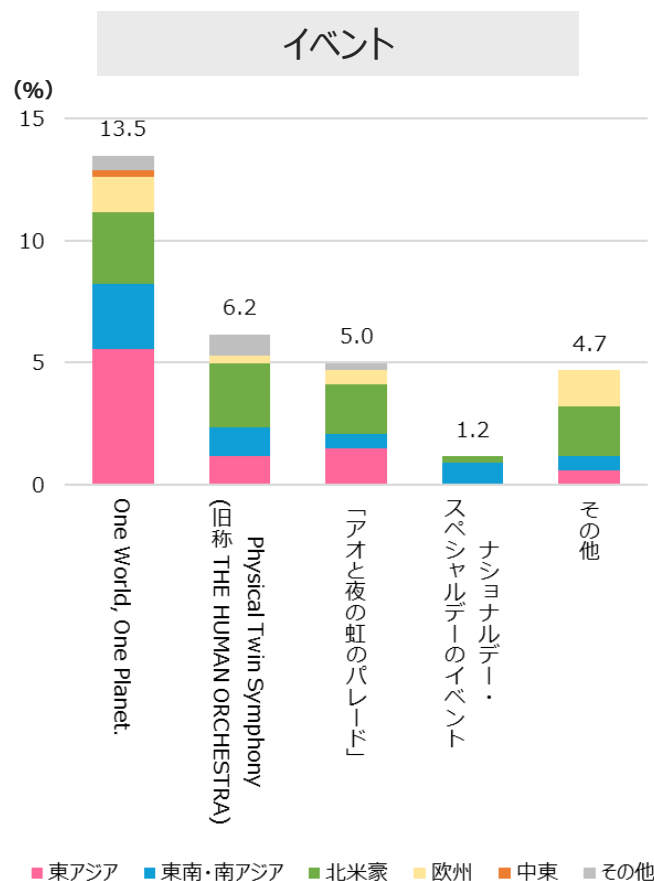


備考：1.シグネチャーパビリオン、国内外パビリオン、未来社会ショーケース、イベントの中から上限なしの複数回答 2.有効回答者数比（n=341）

④ 大阪・関西万博訪問者※に人気のイベント、注目されている技術

※訪問予定者を含む

- ・ 訪問予定あるいは訪問済みのイベントとしては、「One World, One Planet.」（13.5%）が最も多く、次いで「THE HUMAN ORCHESTRA」（6.2%）、「アオと夜の虹のパレード」（5%）となっている。
- ・ 最も注目されている技術は「スマートモビリティ」（38.1%）で、次いで「未来の都市」（37.5%）、「日本の文化」（34.6%）の順に多い。



備考：1.（左図）シグネチャーパビリオン、国内外パビリオン、未来社会ショーケース、イベントの中から上限なしの複数回答（右図）上限なしの複数回答
2.両図表とも有効回答者数比（n=341）

© Development Bank of Japan Inc.2025

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

（お問合せ先）

株式会社日本政策投資銀行
◆ 関西支店 企画調査課

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング13F／Tel：06-4706-6455／E-mail：ksinfo@dbj.jp
HP：<http://www.dbj.jp/co/info/branchnews/kansai/index.html>